

コンパクト形蛍光灯の故障診断

故障状態		原因	対策
点灯しない	蛍光灯も点灯管も全然つかない。	正規の電源電圧が供給されていない。	正規の電源電圧が印加されているか確認してください。
		安定器が規格に合っていない。	安定器を適切なものに取り替えてください。
	点灯管不良または不適合、もしくは点灯管の寿命がきている。	器具内の結線の誤り、断線もしくは接触の不良。	結線を正しく直し、もしくは断線箇所を修理し、あるいは接触を確実にしてください。 テスターで調べてください。または他のランプと交換してください。 断線していれば良品と交換してください。
		点灯管を取り替えてください。	
蛍光灯の両端が赤くなるだけで点灯しない。	器具の結線の誤り。	結線を正しく直してください。	
	点灯管が不良(バイメタルの溶着、あるいはコンデンサが短絡している)。 ランプが不良であるか、寿命がきている。	点灯管を取り替えてください。 ランプを交換してください。	
冬場点灯直後に暗く感じたり、ちらつく、又はランプが点滅を繰り返してつかない。	室内温度が低い。又は周囲温度が低い。	温度が上昇すれば直ります。 20℃以上に温度上昇しても直らない場合、ランプを交換してください。	
正常に点灯しない	ランプがついたり消えたりする。	電圧の低下もしくは器具内の結線の誤り。	電源部の正常化、配線の適正化を図ってください。
		ランプまたは点灯管の不良または寿命末期。	ランプもしくは点灯管を交換してください。
		ランプ接触不良。	ランプの装着状態を調べ正しく直してください。
		ランプの寿命。	ランプを交換してください。
光がうねる。(スネーキング)	よいランプでも最初しばらくはうねることがある。	消灯し、しばらくして再び点灯すれば直ります。数回の点滅あるいは数分間の点灯で止まれば異常ではありません。	
点灯するまでに時間がかかりすぎる。	蛍光灯はつくが十分明るくならない、またはちらつく。	電圧の低下。	正規の電源電圧が印加されているか確認してください。
		ランプの寿命末期。	ランプを交換してください。
		周囲温度が低い、風が当たっている。	カバー付き器具にする等保温を考慮してください。
		電圧の低下。	正規の電源電圧が印加されているか確認してください。
短時間で異常現象が発生する	器具がうなる。	点灯管の作動時間が長すぎる場合は、点灯管が不良であるか、もしくは寿命末期。	点灯管を交換してください。
		安定器やトランスの鉄芯の振動。	クッションを入れる、または安定器やトランスをしめ直してください。 ひどい場合は交換してください。
		電圧の誤り、周波数の誤り、周波数の低下、放熱不足、連続点滅、2灯用の1灯だけ点灯不良あるいは器具不良、周囲温度の高すぎ。	電源電圧と周波数を調べ、器具の銘板と照らし合わせ適性化してください。過度に密閉しないでください。点滅しているランプは交換してください。点灯しないランプは交換してください。 ランプに異常がなければ、器具を交換してください。
機械的故障	比較的短時間でランプの両端に黒いみができる(黒化)。点灯しなくなる。	電圧が高すぎる(電流過大)。	正規の電源電圧が印加されているか確認してください。
		安定器の品種まちがい又は規格外の安定器が使われている。	正規の安定器に交換してください。
		器具内の結線に誤りがあるか、もしくは接触が悪い。	結線を正しくしてください。
		ランプが不良。	ランプを交換してください。
寿命	一端あるいは両端が真黒になる。	ランプあるいは安定器の不良。	ランプあるいは安定器を交換してください。
		点滅過度。	点滅を少なくしてください。
		正規の電源電圧が供給されていない。	正規の電源電圧が印加されているか確認してください。
		結線の誤り。	結線を正しく直してください。
明るさ	定格寿命よりも短い。	カタログは平均寿命を表示していますので、実際のランプでは多少のバラツキがあります。(用語解説項の「定格寿命」を参照ください。) 短寿命が多数出たらランプあるいは安定器不良、電圧、周波数の不適正。	電源を調べ正常化してください。 安定器を適正のものに交換してください。
		器具の不良。 安定器の品種まちがい又は規格外の安定器が使われている。	器具を交換してください。 正規の安定器に交換してください。
ちらつき	寒くなると(気温0℃ぐらいで)暗い。	ランプ周囲温度が低い。	保温のため密閉形器具を使用してください。
	動くものを見るとちらつく。	不良ではない。	インバータ点灯器具に変更してください。
	ランプが装着できない。	ランプと器具が合っていない。	器具銘板に記載されたランプに交換してください。